

令和 7 年度 若年性認知症相談窓口 実績報告

・ 2025 年 4 月～2026 年 3 月

○ 相談件数

・ 実人数： 71 名(新規相談 22 名 継続相談 49 名)

新規・継続相談 延べ						
相 談 者	本人	家族	関係機関	職場	その他	合計
件 数	47	93	106	8	361	615

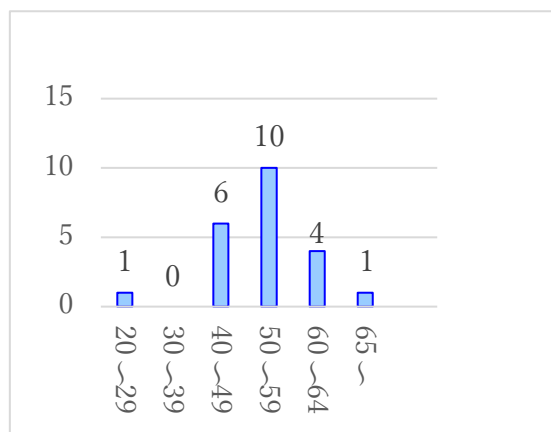
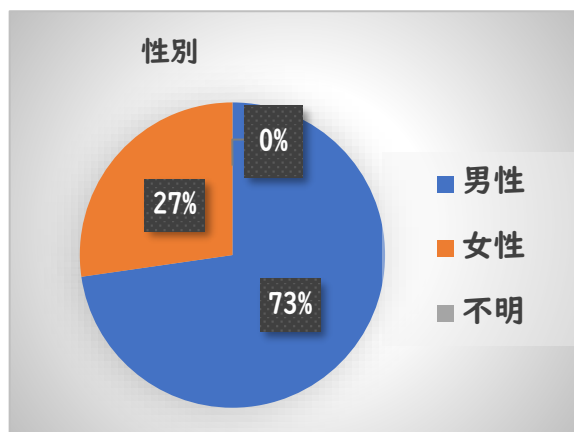
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
電 話 相 談	57	61	45	61	50	63	75	38	47	50	31	37	615
面 談	6	22	7	11	8	5	11	4	12	6	4	9	105
来所面談	1	0	0	0	2	1	3	0	2	2	0	2	13
訪問面談	2	17	5	7	4	3	5	2	5	3	2	4	59
同行面談	3	5	2	4	2	1	3	2	5	1	2	3	33

- ・ 相談件数： 615 件 相談内容は、重複、個別ケース連絡を含む。
- ・ 面談： 72 件(来所 13 件、訪問 59 件) 同行面談 33 件(受診、事業所、会社等)

相 談 内 容 延 べ								
内 容	医療受診	制 度	社会資源	生活支援	介 護	就 労	その他	計
新規者	29	21	11	26	11	22	35	155
継続者	250	206	204	426	145	245	543	2019
件 数	279	227	215	452	156	267	578	2174

・ 新規相談男女年齢別： 22 名（うち男性 16 名 女性 6 名 不明 0 名）

男 女 年 齢 別								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～	総人数
男性	0	1	0	4	8	3	0	16
女性	0	0	0	2	2	1	1	6
計	0	1	0	6	10	4	1	22



・相談者圏域別：新規相談者実人数 22名（うち匿名者0名）

圏域相談状況									
圏域	県北	県中	県南	会津	南会津	いわき	相双	県外	合計
男性	1	8	2	2	0	3	0	0	16
女性	1	4	0	1	0	0	0	0	6
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	12	2	3	0	3	0	0	22

・新規相談者鑑別診断 11名

鑑別診断 アルツハイマー型認知症 7名、ウェルニッケ脳症 1名、MCI 1名
脳出血 1名、精神疾患 1名、受診勧奨 11名

圏域	県北	県中	県南	会津	南会津	いわき	相双	合計
男性	0	2	1	2	0	3	0	8
女性	1	2	0	0	0	0	0	3
計	1	4	1	2	0	3	0	11

○ 継続相談者

・継続相談男女年齢別：49名（うち男性 33名 女性 16名）

男女年齢別								
年齢	～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65～	総人数
男性	0	0	0	3	14	14	2	33
女性	0	0	1	1	6	7	1	16
計	0	0	1	4	20	21	3	49

- ・相談者圏域別：継続相談者実人数 49名（うち男性 33名 女性 16名）

圏 域 相 談 状 況									
圏 域	県北	県中	県南	会津	南会津	いわき	相双	県外	合 計
男 性	1	20	4	2	0	6	0	0	33
女 性	1	9	1	3	0	1	1	0	16
計	2	29	5	5	0	7	1	0	49

- ・継続相談者鑑別診断 40名

鑑別診断 アルツハイマー型認知症 32名 前頭側頭型認知症 2名 ウェルニッケ脳症 2名
脳出血 1名 MCI 3名 診断・受診なし 9名

○ ケース会議

実施回数： 8回 ケース会議 実人数：6名 延べ人数： 36名

4/22	会津圏域：会津若松市	参加者数：5名
5/7	会津圏域：喜多方市	参加者数：3名
6/5	県中圏域：郡山市	参加者数：4名
6/25	県中圏域：須賀川市	参加者数：5名
8/14	いわき圏域	参加者数：7名
11/4	いわき圏域	参加者数：3名
11/19	会津圏域：会津若松市	参加者数：3名
3/2	県南圏域：西郷村	参加者数：6名

○ 令和7年度（2025年4月～2026年3月）物忘れ外来 対応件数 9件

実人数： 3名（継続者 8件、新規者 1件）

○ 認知症カフェでの対応件数 56件

- ・郡山市委託認知症カフェ「キラリ」カフェ： 13回 参加・運営補助
- ・認知症カフェ 9回 参加 4ヶ所：県中圏域 3ヶ所、県南圏域 1ヶ所参加。
- ・本人・家族ミーティング 34回 参加 7ヶ所：県中圏域 1ヶ所、いわき圏域 2ヶ所、
県北圏域 2ヶ所、会津圏域 2ヶ所

○ 若年性認知症のつどい「陽だまりの会」開催 11回

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計(延べ)
本人	1	0	1	1	1	1	3	1	1	0	1	0	11
家族	2	1	2	3	2	1	5	3	3	2	3	0	27
合計	3	1	3	4	3	2	8	4	4	2	4	0	38
支援関係者	1	1	0	2	2	5	2	2	2	3	2	0	22
スタッフ	2	6	2	2	4	6	2	2	2	2	2	0	32

※令和7年度新規参加者 実人数 0名（本人 0名、家族 0名、友人 0名）

【事業・活動状況について】

❖個別相談業務

個別ケース相談

- ・個別相談は、電話だけでなく、面談にて来所、訪問、受診・事業所等の同行を本人・家族の承諾を得て、お話を伺う機会を設けるように努めた。また、相談者に対しては伴走者として継続的に連絡しながら、状況確認等を行った。
- ・市町村、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所や就労、相談支援事業所、障がい者就業・生活支援センター、障害福祉事業所など、他の支援関係者と繋がりを広げていけるよう連絡調整を行った。
- ・個別ケースを通してその地域の社会資源等を電話・訪問を行い、情報収集に努めた。

❖支援ネットワークづくり

各市町村や地域包括支援センター等への情報交換を電話、訪問で実施した。

・社会資源の把握 46 件(訪問 10 ケ所、電話 36 ケ所)

各圏域、各市町村の行政担当（高齢福祉課、障害福祉課等）、各地域包括支援センター、障害福祉事業所、介護保険事業所等へ電話、訪問にて若年性認知症に関する情報交換や、リーフレット等を用いてネットワークづくりに努めた。

・福島県若年性認知症支援(相談関係者)ネットワーク研修会を実施した。 計 1 回

令和 7 年度県中圏域若年性認知症支援ネットワーク研修会

令和 8 年 3 月 14 日（土）13:30～15:30 場所 公益財団法人 星総合病院メグレズホール

参集 参加者 102 名(一般 72 名、専門職 30 名)

研修会は、認知症があっても住み慣れた地域で生活できるように、地域住民や医療・保健・福祉・就労等の関係者が認知症についての対応や関わりについて理解を深める。若年性認知症の当事者の声・埼玉県オレンジ大使、ご家族の声・陽だまりの会参加、当事者・当事者家族から思い等をお話していただき、意見交換を実施した。研修にて対応するため、財団内スタッフ延べ 5 名に協力いただく。

・若年性認知症支援コーディネーターのための情報共有システムの活用

情報共有システム（認知症介護研究・研修大府センター）を活用。相談記録の管理や他都道府県的好事例、研修会やリーフレット等の情報を得られる場として活用。

❖普及・啓発・周知活動

※若年性認知症の理解のために普及・啓発にて講話 総回数 6 回

（県中圏域 2 ケ所、会津圏域 3 ケ所、県南圏域 1 ケ所）で実施した。

若年性認知症の人と家族のつどい「陽だまりの会」の企画・開催 11 回。

参加実人数：9 名（本人 2 名、家族 5 名、支援者 2 名）

延べ人数：60 名（本人 11 名、家族 27 名、支援者 22 名）、スタッフ 32 名。

- ・若年性認知症の人と家族の居場所づくりの一環として月 1 回（第 1 又は第 2 土曜日）に開催。10 時～11 時 45 分で開催。今年度は 1 回休止。）
- ・チラシを作成し、ホームページに掲載、各市町村、事業所等へ訪問時に配布、伝達。
- ・公益社団法人認知症の人と家族の会の方、ピアステーションシリウス(地域活動支援センター)理

事長の参加協力あり。

- ・居場所づくり 星ヶ丘病院 地域活動支援センター「シリウス」で陽だまりの会開催
陽だまりの会 11 回のうち 2 回(5 月・8 月)
参加者延べ: 4 人(本人 1 名、家族 3 人) スタッフ 8 人

財団ホームページの活用

- ・ホームページの掲載内容の充実を図る。広報部の協力のもと、ページ改編を行う。
- ・福島県若年性認知症相談窓口のリーフレットの改訂を県に願う。ホームページから閲覧、ダウンロードできるように掲載している。
- ・「若年性認知症の方の情報提供等に係る連携シート」をホームページへ掲載。若年性認知症支援コーディネーターと相談したい支援関係者との情報交換に活用できるようにしている。
- ・「若年性認知症に関する講話申し込み申請書」をホームページへ掲載。若年性認知症の人に関わる支援関係者を対象に研修会の開催をしていく。

【今後継続】

個別相談業務

- ・個別相談のニーズ把握をし、その地域における社会資源等の情報収集や意見聴取を行い、必要な支援に繋げる。
- ・伴走者として継続的に個別相談の状況把握等モニタリングを行い、必要に応じての支援づくりをする。
- ・本人や家族のニーズに応えられるように関係機関と必要な情報を共有できるようにケース会議、ケア会議等の担当者会議を開催し、具体的な支援体制を提供する。

支援ネットワークづくり

- ・個別ケースに関わる市町村等で関係機関との支援ネットワークづくりの充実を図る。
- ・各圏域で若年性認知症に関わる関係機関や社会資源を把握するために電話、聞き取り、巡回訪問を行い、意見交換会等を実施する。

普及・啓発活動

- ・一般市民、関係機関からの講話依頼に対応できるように財団ホームページ、各地域にて関係機関や社会資源等の情報収集や意見聴取時に活用できるように依頼する。